能楽ワークショップ参加申込書

下記の【注意事項】をよくお読みの上、下の枠内に必要事項を記入して郵送かファクシミリでお申し込みください。

スマートフォン、パソコンなどをお使いの方は、「岡山県・市町村電子申請サービス」からもお申込みいただけます。右のアドレスにアクセスしてお申し込みください。

郵便・ファクシミリの場合、枠内の内容が記載されていれば、この申込書以外の用紙（はがきを含む）を使用しても差し支えありません。ただし、いずれの場合も参加希望者1名様ごとに1枚の用紙又は「はがき」をお使いください。

なお、電子メールによる申込みは、受け付けておりません。

https://s-kantan.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=11764

岡山後楽園　能楽ワークショップ　検索

申込締切：10月25日(木)（必着）

FAX 番号：086－272－1147

宛　　先：〒703-8257 岡山市北区後楽園1－5 岡山後楽園「能楽ワークショップ」係

参加希望のワークショップ	☐ 能（11/24(土)）のみ　☐ 狂言（11/17(土)）のみ　☐ 両方とも ※いずれかに✓チェックを入れてください。		
参加希望者	ふりがな 氏名	性別《任意》 ☐男　☐女 ※いずれかに✓チェック。	年齢 歳
保護者氏名 （参加者が小・中学生の場合のみ）	ふりがな 氏名	☐小学校　☐中学校　＿＿学年 ※参加者が小・中学生の場合は、小学校・中学校の何れかに✓チェックし、学年を記入。	
連絡先 （参加者が小・中学生の場合は、保護者連絡先）	住所 〒　　－	電話番号 －　　－	

上記の個人情報は主催者において厳重に管理し、本ワークショップの運営に必要な範囲でのみ使用します。

【注意事項】（必ずお読みください）

1 小学生以上の方であれば、どなたでも参加できます。なお、参加者が小学生・中学生の場合は、必ず保護者氏名をご記入いただき、連絡先（住所・電話番号）欄には、保護者の方の連絡先をご記入ください。

2 参加者が小学生・中学生の場合は、保護者の方（2名様まで）の見学又は付き添いが可能です。この場合、見学・付き添いの方の申込みは不要ですが、保護者の方自身もワークショップへの参加を希望される場合は、別途、参加申込みをしてください。

3 定員は、能、狂言それぞれ25名（予定）です。申込者多数の場合、抽選で参加者を決定します。

4 参加が決定した方には、郵便又はファクシミリでお申込の場合は「はがき」で、電子申請サービスでお申込の場合は電子メールで、それぞれ参加証をお送りします。抽選の結果、落選となった方にも同様の方法でご連絡します。
※参加証、抽選結果等は、10月31日(水)頃までに発送又は送信します。

5 参加者及び付き添いの方（能舞台に上がる必要がある場合）は、ワークショップ当日、木綿の足袋をお持ちください。足袋を着用しなければ、能舞台に上がることはできません。

能・狂言（能楽）は、１４世紀（室町時代）に観阿弥、世阿弥によって大成された長い歴史を持つ舞台芸術で、ユネスコの無形文化遺産にも登録されています。

江戸時代の岡山。後楽園の築造を命じた藩主・池田綱政は、自ら演じるほど能を愛し、1707年に後楽園内に能舞台をつくります。綱政公が亡くなるまでの約７年間に、この舞台では、能楽が１５６回上演され、領民を含めて延べ7万5千人が観覧したという記録が残っています。

このワークショップは、戦災で焼失した能舞台が昭和３３年（1958）に復元されてから今年で60周年となるのを記念して、後楽園の能舞台にゆかりがあり、各地で活躍されている大島衣恵氏と田賀屋夙生氏にご協力をお願いして、一般の方々に広く能楽に親しんでいただこうと企画したものです。

お問合せ先：岡山県後楽園事務所　電話 086-272-1148